



オンライン講座



外国人に伝えよう！ やさしい日本語講座

この講座は外国人とわかりやすい日本語でコミュニケーションをとる方法を広く市民に知ってもらおうと地域日本語コーディネーターによって企画され、「町田やさしい日本語の会」の協力を得てワークショップ形式で開催されました。

当日は大学生を始め幅広い年代から20名の参加がありました。画面越しですが久しぶりに知人に再会して互いに驚きの声を上げるなど、参加者の嬉しいハプニングも見られ、和やかな雰囲気でのびんびんしました。

最初に富田センター長から挨拶があり、次に講師である「町田やさしい日本語の会」会員の荒明さんから「やさしい日本語」が生まれた経緯や、実際にどのような場面で使われているのかなどの概要を学びました。

それから4つのグループに分かれて普段使っている日本語をわかりやすい日本語に言い換えるワークをやってみました。たとえば、「公民館へご来場の節は、公共交通機関をご利用くださいますよう、ご協力をお願いします」のような身近で見たり聞いたりする文章を外国人に伝わるようにやさしい日本語に直していきます。ワークを行う中で初対面の参加者同士もすぐに打ち解け、「ご来場」は何と言えればわかるかな」「公共交通機関」はむずかしいね」など伝える相手のことを思いながら皆で考えを出し合い、その成果を発表しました。最後に苦労したところや工夫した点などを皆で共有して終了となりました。

今回の講座は一方通行ではなくコミュニケーションをとりながらお互いに学び合う場となり、「日本語をやさしくするコツがつかめた」「今後外国人と接する機会があった時には自信を持って積極的に日本語で声をかけられそうだ」と、参加者も笑顔で話していました。

広報部会 岡村 眞理

やさしい日本語でコミュニケーション



ぼろんていえ

Volontiers! の由来：誘われたとき、頼まれたとき「喜んで！」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで





インターンシップを経験して

青山学院大学 鈴木なずな さん

私は学校で地域住民の支援に関することを学んでおり、マイノリティ支援に興味がありました。今回のインターンシップを通して、外国人の方を支援するために多くの方々が親身になって相談を受けていることを知りました。支援する側とされる側という上下関係ではなく、一緒に問題を解決していくという関係性が大切なのだと学ぶことができました。私も困っている人がいたらすぐに寄り添ってあげられるような存在になりたいと思いました。



相模女子大学 須藤 早紀 さん

興味：食べることが好きなので、料理にもチャレンジしようと思っています。

私は今回のインターンシップから、「誰かのために」を意識して行動する大切さを学びました。文化事業の運営に携わったこと、外国の方の支援について職員の方やボランティアの方のお仕事を実際に目にしたこと、これらの経験から、どのような仕事を選んでも見返りが欲しいから頑張るのではなく少しでも誰かのためになれば、という思いであれば自然と多くの人々の笑顔に繋がることが日々の実習から感じ取りました。貴重な経験をありがとうございました。



相模女子大学 堀口 杏泉 さん

大学では主に情報やメディアについて学んでおり、ボウリングをすることが好きです。

今回インターンシップには初めて参加したのですが、町田市や文化、国際交流に関心を持ついい機会になったと同時に、様々な人や文化に触れ合うことができ、伝えること、助け合うこと、感謝を忘れないことなどたくさんを学ばせていただきました。

関わってくださった皆様、短い時間でしたが本当にありがとうございました!!!



和光大学 原田 陽有 さん

特に興味がある事は落語です。ステイホームを期にラジオやテレビで落語を聴くようになって、早口でも声と身振り手振りで当時の空気と背景が鮮明に思い浮かんではずっと離れませんでした。中でも『死神』という落語は、結末が一つではないどころか多彩であるため驚きました。楽曲やドラマでも『死神』をモチーフにしたものが存在するため、そこから入る事もおすすめします。実習では落語会の会場設営などに携わりました。普段は見る事の出来ない舞台裏では、関係者の方々の動きを見る事が重要でした。機材が壊れてしまったという異常事態でも、迅速に対応する事は出演者の方や観客の方に安心してご覧いただくため、参考になりました。貴重な経験をさせて頂きありがとうございます。



今回の専門家無料相談会の感想

3月6日(日)に町田国際交流センターで外国人のための専門家無料相談会が行われました。これはいつもの相談と違うものです。今回は弁護士や行政書士などの専門家が来て、法律に関する詳細なところまで相談に乗っていただきました。その上、無料なんです。そのため、外国人たちは楽で色々話せることができるでしょう。実は、私は相談部会に入会してからわずか二ヶ月だし、今回の相談会の参加は初めてなので、やり方があまり分かりませんでした。当日、受付係や連絡係の役としてやってみて、緊張といおうか喜びといおうか複雑な気持ちでした。なぜなら、初めてで自分が自分の役をきちんとしたかを不安しつつ、皆が私のことを信じて、仕事を任せたのが嬉しいからです。相談会の前に皆が名札や「あと5分」というタイムの看板など細かいところまで工夫して準備しておきました。当日相談部会員の皆が努力して、積極的に自分の役をやることと、そのあと反省会もあることにもびっくりしました。無事に無料相談会が終わってよかったです。皆さん、お疲れ様でした。外国人のために色々やってくださり、心から感謝しております。このようなイベントをさらに行っていただければ嬉しいです。次回があれば、私もまた参加したいと思っています。

外国人相談部会 グエン ティ イエン ニー

生涯学習センター主催

まちだ市民大学HATSまちだの福祉公開講座

「医療と介護を上手に連携させるためには」 ～医療と介護とうまく付き合う為に大切な事を知る～

「住み慣れた場所、希望する場所で安心して暮らせる」事を大切にし、在宅で医療介護事業を行っている医療と介護の連携センターをはじめとする木曽 (KISO) コミュニティベースの取り組みを聞き、地域との関わりや介護の悩みや不安などを解消するヒントを探してみましょう。

- 対 象** どなたでも
日 時 6月7日(火) 14時～16時
会 場 町田市民フォーラム 3Fホール (町田市原町田4-9-8)
講 師 木曽 (KISO) コミュニティベース
医療と介護の連携支援センター センター長 長谷川昌之 氏
参 加 費 無料
申し込み 詳しくは5月1日号広報をご覧ください。



問い合わせ

町田市生涯学習センター (町田市原町田6-8-1 町田センタービル6・7・8階)

TEL 042-728-0071 FAX 042-728-0073

休館日 毎月第4月曜日(祝日の場合は翌日) および年末年始(12月29日～1月3日)

編集後記

5月、春の終わりで夏の始まり、季節の変わり目。5月の節句の鯉のぼり。江戸時代に始まったと言われ、子どもの成長を願って、子どもの生まれた家庭の庭に泳いでいた鯉のぼり。今は川幅いっぱい、何十匹もの大きな鯉が、何列もはためく風景。黒(おとうさん)、赤(お母さん)、青(子ども達)の鯉のぼりが風をいっぱい受けて泳ぐ様子は、子ども達ばかりだけではなく、大人まで見入ってしまう五月晴れの青空。

目を転じると海外では相変わらず猛威をふるっているCOVID-19。国際交流センターの活動も徐々に戻ってるようですが、早く以前のように活気のある状態に戻ってほしいものです。先日広報部会の会議に大学生がインターンシップのメンバーとして参加しました。あらためて広報部会にも若い力が加わることが期待されるひと時でした。